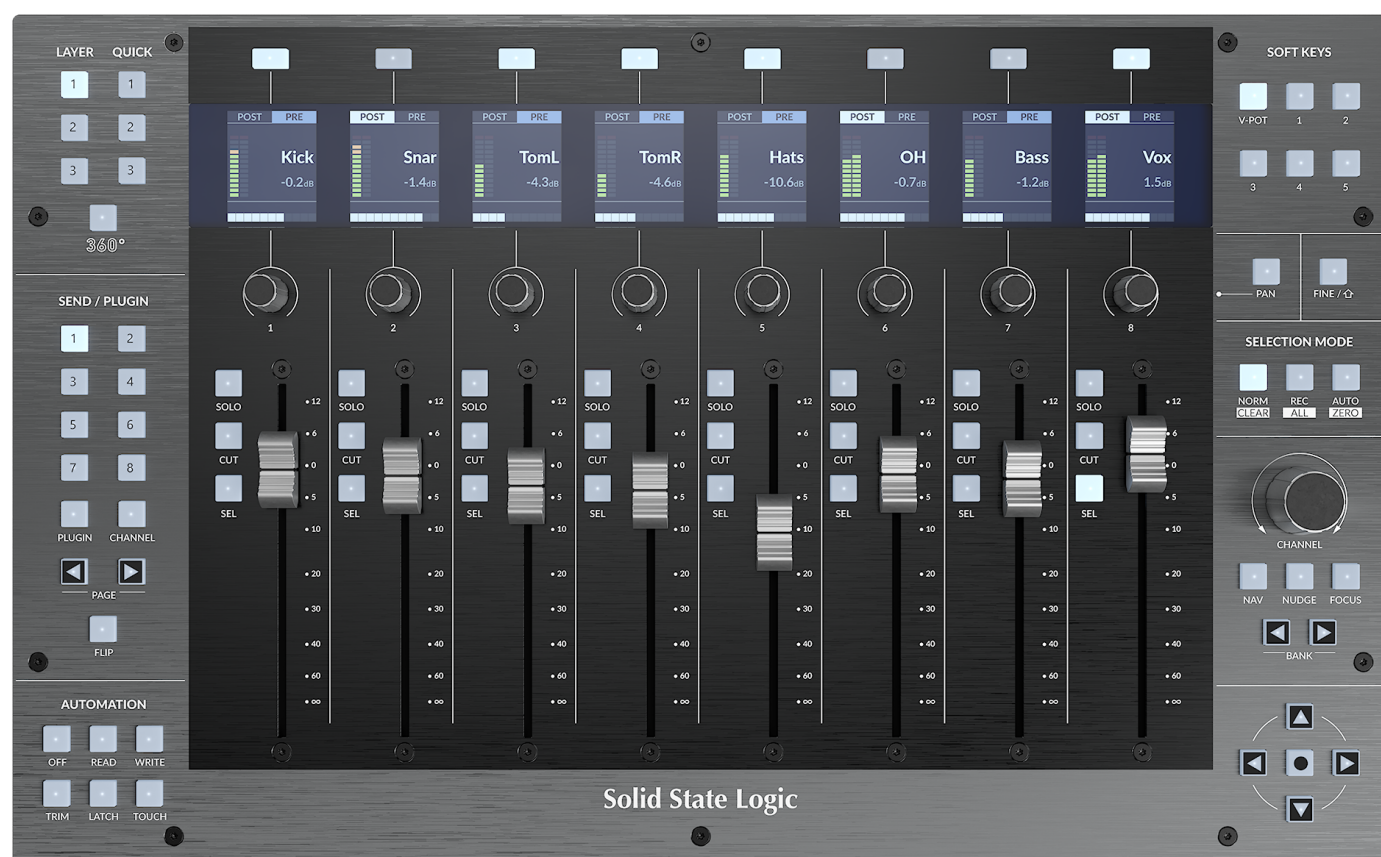


SSL UF8

User Guide - Ableton Live Tutorial

日本語版



Solid State Logic

O X F O R D • E N G L A N D

Visit SSL at:
www.solidstatelogic.com

© Solid State Logic

All rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions.

SSL® and Solid State Logic® are registered trademarks of Solid State Logic.

SSL UF8™ is a trademark of Solid State Logic.

All other product names and trademarks are the property of their respective owners and are hereby acknowledged.

Pro Tools® is a registered trademark of Avid®.

Live™ is a trademark of Ableton® AG.

Logic Pro® and Logic® are registered trademarks of Apple® Inc.

Studio One® is a registered trademark of Presonus® Audio Electronics Inc.

Cubase™ and Nuendo™ are trademarks of Steinberg® Media Technologies GmbH.

LUNA™ is a trademark of Universal Audio® Inc.

Pyramix™ is a trademark of Merging Technologies® SA.

Mackie® is a registered trademark of LOUD Technologies® Inc.

BOSS® is a registered trademark of Roland® Corporation.

No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Begbroke, OX5 1RU, England.

As research and development is a continual process, Solid State Logic reserves the right to change the features and specifications described herein without notice or obligation.

Solid State Logic cannot be held responsible for any loss or damage arising directly or indirectly from any error or omission in this manual.

PLEASE READ ALL INSTRUCTIONS, PAY SPECIAL HEED TO SAFETY WARNINGS.

E&OE

Revision 3.0 - October 2022

LUNA and Pyramix Tutorials added, Plug-in Mixer Tutorial updated.

Japanese version April 2023

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。
また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © Solid State Logic Japan K.K. 2023

Visit SSL at: www.solid-state-logic.co.jp

Table of Contents

Ableton Live with UF8 - Tutorial	5
SSL 360° Setup	5
Live Setup	5
LCD Layout	6
Tutorial	7

This Page Is Intentionally Almost Blank!

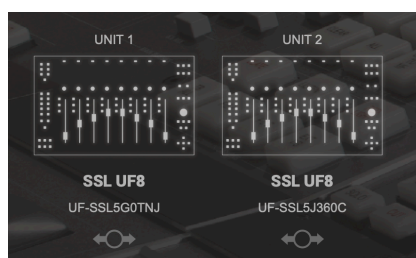
Ableton Live with UF8 - Tutorial

(Ableton Live - チュートリアル)

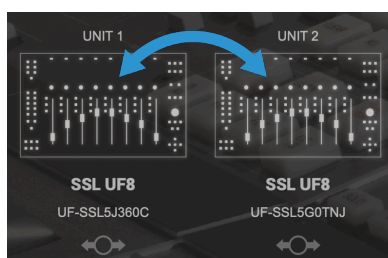
以下のチュートリアルでは、UF8 の LAYER 1 でデフォルトの Live プロファイルを設定し、使用方法を説明します。Live を別のレイヤーに設定する場合は、お使いの DAW が正しい **SSL V-MIDI** ポートに設定されていることを確認してください。

SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

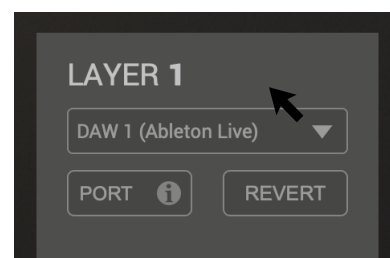
1. SSL 360° アプリケーションを Mac または Windows コンピュータで開き、**ホーム** のページでコンピュータに接続した UF8 が存在することを確認します (それぞれの UF8 の輪郭画像が画面に表示されます)。
2. 複数の UF8 を接続している場合は、各ユニットの画像をクリックし、UF8 が正しい順序で配置されていることを確認します。順番を変更する必要がある場合は、マウスでクリック & ドラッグして並び替えます。
3. **UF8** のページを開き、ドロップダウンリストを使用して **Layer 1** を **Ableton Live** に設定します。



STEP 1 : SSL 360° アプリケーションを起動します。



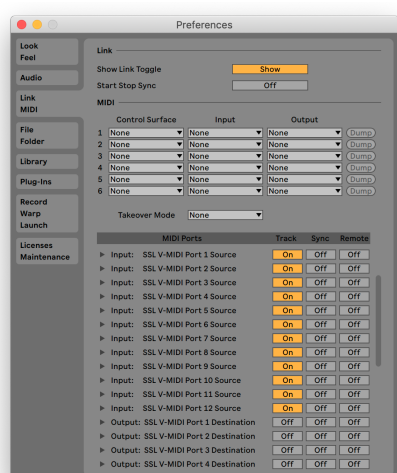
STEP 2 : クリック & ドラッグで並び替えます。



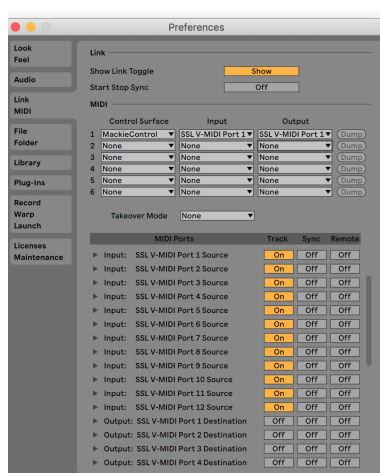
STEP 3 : UF8 ページより DAW プロファイルを選択します。

Live Setup (Live の設定)

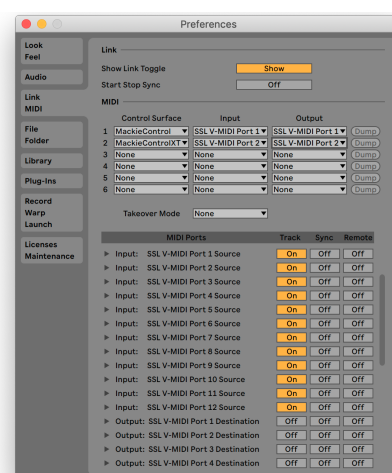
4. Live を開きます。Preferences > Link MIDI... を開きます。
5. コントロールサーフェスのドロップダウンリストから、**MackieControl** を選択します。
Input を **SSL V-MIDI Port 1 Source** に設定し、**Output** を **SSL V-MIDI Port 1 Destination** に変更します。
6. 複数の UF8 を使用している場合、ドロップダウンリスト 2-4 を使って、後続の **MackieControl XT** を追加し、**SSL V-MIDI Port** を増加させます。



STEP 4 : Preferences メニューから、Link MIDI タブをクリックします。

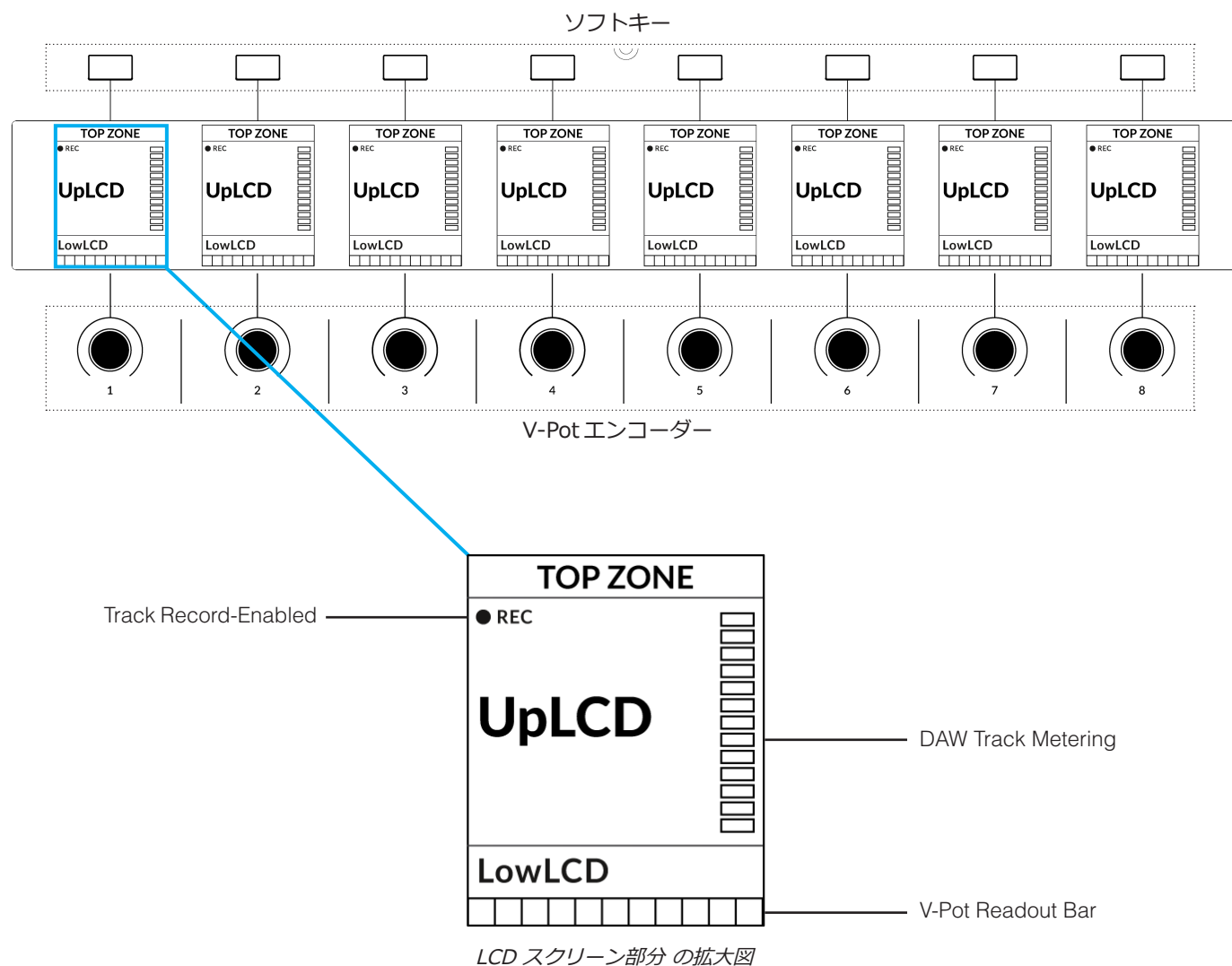


STEP 5 : MackieControl を追加し、入出力に SSL V-MIDI Port 1 を設定します。



STEP 6 : 複数の UF8 を使用している場合、ドロップダウンリスト 2-4 を使って、後続の MackieControl XT を追加し、SSL V-MIDI Port を増加させます。

LCD Layout (LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーボタンに割り当てられた機能を表示します。

Track Record-Enabled (REC) - Live では、トラックがレコードイネーブルの場合、REC テキストが表示されます。

UpLCD - 6 文字のトラック名、または現在の V-Pot 割り当てに関する情報を表示します (現在のモードによる)。フェーダーを動かすと、ここに「Volume」の文字が表示されます。

LowLCD - V-Pot にアサインされているパラメータのラベルまたは値を表示します。フェーダーを移動した場合は、フェーダーの dB 値が表示されます。

DAW Track Metering - 12 セグメントトラックメーター + クリップ

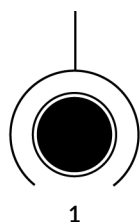
V-POT readout bar - 現在割り当てられている V-Pot (エンコーダー) の位置を表示します。

Tutorial (チュートリアル)

UF8 を Live で使用する方法を説明します。

V-Pot (V-Pot - バーチャルポット)

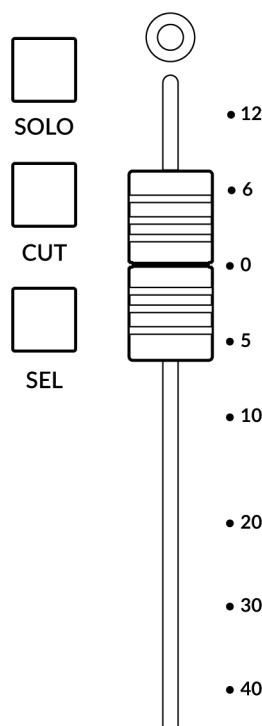
各ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモード (パン、センドなど) によって異なりますが、通常、パンポジション、センドレベル、プラグインパラメーター、パラメーターオプション/リストのスクロールなどのタスクに使用します。



V-Pot にはプッシュ機能があり、通常、制御するパラメータの位置をデフォルトにするために使用されます。

100 mm Motorised Fader (100mm モーター駆動フェーダー)

モーター駆動のタッチセンサー式フェーダーは、トラックを物理的にコントロールすることができ、ミックスレベルのバランス調整やボリュームオートメーションの実行に最適です。



フェーダーをタッチすると、LowLCD エリアには V-Pot パラメータ表示ではなく、フェーダーレベルの dB 表示が行われます。

Solo, Cut & Sel (Select) (SOLO、CUT、SEL (選択))

各ストリップには、ソロ、ミュート、セレクトに対応する **SOLO**、**CUT**、**SEL** キーが配置されています。

Selection Mode (選択モード)

SELECTION MODE 部の **NORM**、**REC** の主な目的は、**SEL** キーの挙動を決定することです。

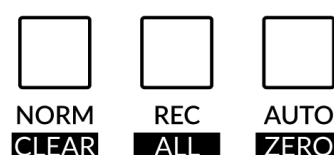
NORM - SEL キーは、Live の通常のトラック選択機能として動作します。

REC - SEL キーは、トラックのレコード・アーム・ボタンになります。.

AUTO - 使用しません。

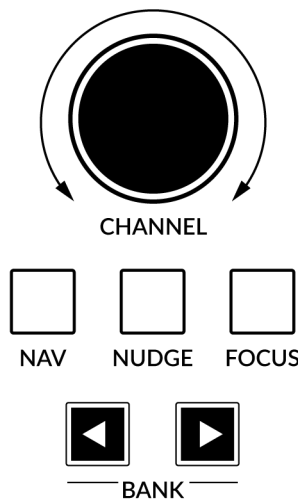
SELECTION MODE キーの下にラベルが追加されていますが、これらの機能は、Live では使用しません。

SELECTION MODE



Channel Encoder (チャンネルエンコーダー)

デフォルトでは、**CHANNEL** エンコーダーは DAW のトラックを 1 チャンネルずつ UF8 サーフェス上で移動するために使用されます。**NAV** モードや **FOCUS** モードになった場合は、**CHANNEL** エンコーダーを押すだけで **CHANNEL** モードに戻ります。



Nav (ナビ)

NAV キーを押すと、**CHANNEL** エンコーダーが再生ヘッド位置を操作します。

Nudge (ナッジ)

無効です。Pro Tools のプロファイルにのみ適用されます。

Focus (フォーカス)

FOCUS キーを押すと、**CHANNEL** エンコーダーがフォーカスモードになり、マウスのスクロール機能をエミュレートします。これは、マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを画面上でコントロールするための非常に良い方法です。プラグインの GUI を開き、マウスのカーソルを合わせます。エンコーダーを回すと、実際に操作することができます。

FOCUS モードの感度は、操作するプラグインや画面上の要素によって異なります。コンピュータの環境設定にあるマウスのスクロール感度の設定を使って、好みに合わせて調整することができます。

Bank Keys (バンクキー)

BANK < > キーは、UF8 コントロールサーフェス上のトラックを 8 の倍数で移動させることができます。例えば、UF8 が 1 個の場合は 8 個、UF8 が 2 個の場合は 16 個などです。

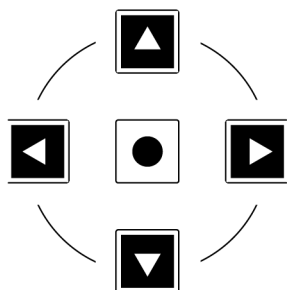
Cursor Keys and Mode Key (Launching Clips and Zooming)

(カーソルキー&モードキー (クリップの起動と拡大表示))

UF8 の右下にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。これらのキーの機能は、Live の現在のビューに依存します。

Session View (セッションビュー)

セッションビューでの作業では、カーソルキーで上下左右に移動して起動したいクリップをハイライトし、真ん中のモードキーでクリップの起動が可能です。



Arrangement View (アレンジメントビュー)

モードキー点灯中は、左右のカーソルキーで水平方向の拡大・縮小を行い、上下のカーソルキーで現在選択されているトラックのトラックハイトを増減させることができます。

もう一度 Mode キーを押すと、上下のカーソルキーで選択中のトラックを変更し、左右のカーソルキーでカーソルを左右に移動します。

Cursory Keys - Transport Mode (カーソルキー - トランスポートモード)

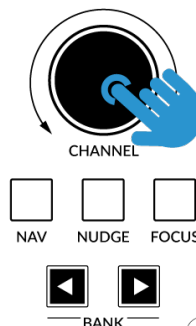
SSL 360° v1.3 では、カーソルキーを **トランスポートモード** に切り替えることができ、DAW の停止、再生等のトランスポートを割り当てることができます。

How to enter/exit Transport Mode for the Cursor Keys

(カーソルキーのトランスポートモードへの入り方/戻り方)

CHANNEL エンコーダーを長押ししてトランスポートモードに入ります。

カーソルキーを通常の操作に戻すには、もう一度 **CHANNEL** エンコーダーを長押ししてください。



CHANNEL エンコーダーを長押しして、トランスポートモードに入る/戻る

Assignment of Transport Commands

(トランスポートコマンドの割り当て方)

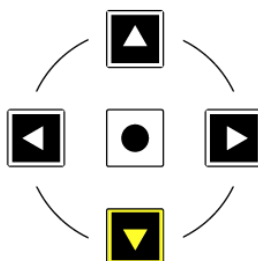
下矢印が **STOP**

上矢印が **PLAY**

左矢印が **REWIND**

右矢印が **FORWARD**

サークルキーが **RECORD**



Launch Scenes (Use the FINE / SHIFT key) (シーンの起動 (FINE / SHIFTキーを使用する))



FINE / SHIFT と書かれたキーは、Live で Launch Scene 機能を実行するためにプログラムされています。カーソルキーで希望のシーンに移動し、**FINE / SHIFT** キーを押してシーンを起動します。

Automation (オートメーション)

UF8 左下の **AUTOMATION** キーは Live には適用されないため、無効になっています。

Quick Keys (クイックキー)

UF8 の左上にある 3 つの **QUICK** キーは、ユーザーが割り当て可能なキーで、最も頻繁に使用する DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスするために最適です。デフォルトでは以下のコマンドに割り当てられていますが、もちろん SSL 360° で変更することができます。

デフォルトのクイックキー割り当て：

- 1 - BTA - アレンジメントに戻る
- 2 - セッション/アレンジメントウィンドウのトグル
- 3 - Return Tracks - UF8 フェーダーを標準の オーディオ/MIDI トラックまたはリターントラックのコントロールに切り替えます。

QUICK



Page Keys (ページキー)

PAGE < > キーは、デバイス (プラグイン) をコントロールする際に、さまざまなパラメーターページを移動させることができます。



Flip (フリップ)

FLIP キーを押すと、V-Pot とフェーダーの機能が切り替わります。センドレベルやプラグインパラメーターを V-Pot ではなくフェーダーでコントロールするなどの作業も可能です。



Send / Plugin 1-8 Keys (Send/Plugin 1~8 キー)

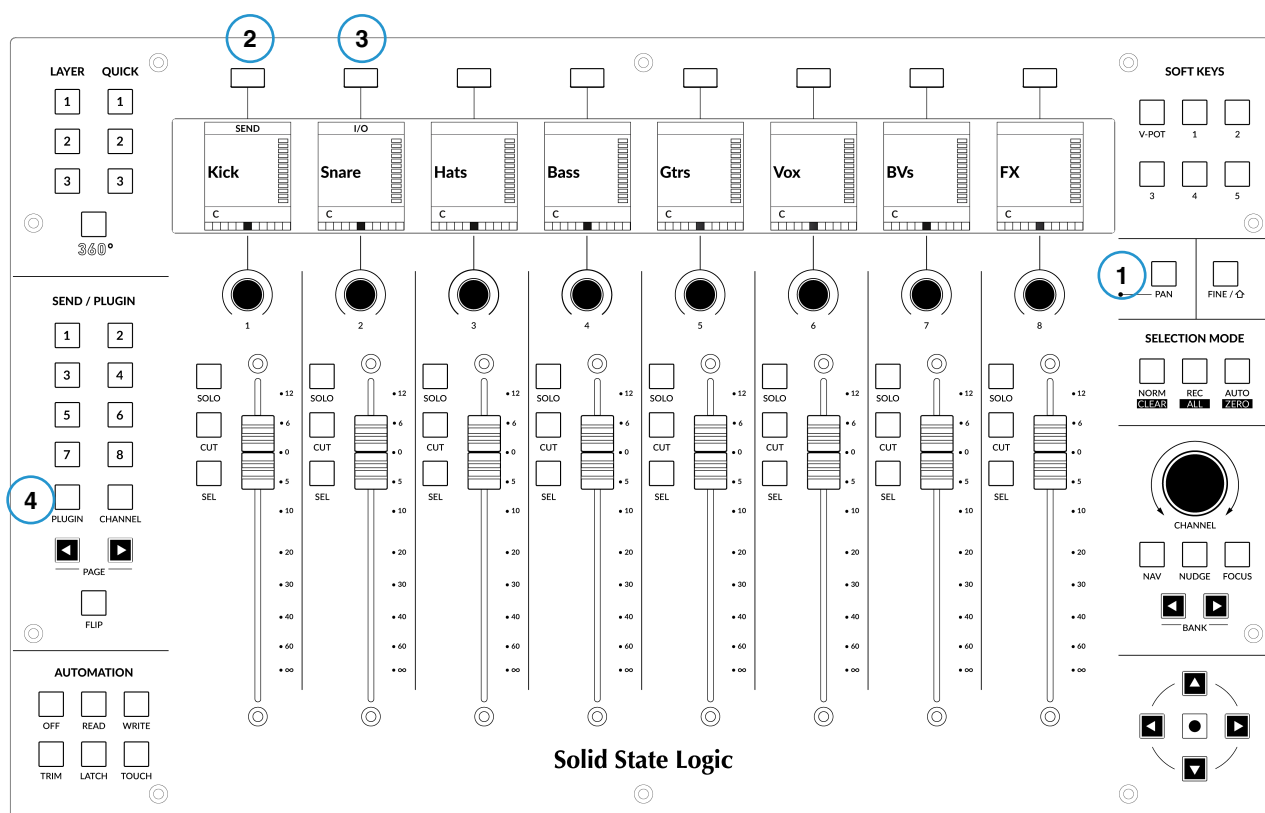
SEND / PLUGIN 1~8 キーは、UF8 の Live プロファイルでは使用しないため、無効になっています。

Channel Key (チャンネルキー)

このキーは、UF8 の Live プロファイルでは無効になっています。

V-Pot Assignment Modes (V-Pot アサインメントモード)

UF8 は、Live の主要な Mackie Control の V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサイン・モードは、以下のキーでアクセスできます： 1. **PAN**、2. **SEND**、3. **I/O**、4. **PLUGIN**



1 - PAN

パンコントロールを UF8 の V-Pot にアサインします。V-Pot を押すと、センターポジションに初期設定されます。

2 - SEND

現在選択されているトラックの Send コントロールを UF8 の V-Pot にアサインします。V-Pot を押すと Send は OFF になります。

3 - I/O

V-Pot の各トラックの I/O 設定を行います。**I/O** キーを繰り返し押すと、以下のオプションが切り替わります：入カタイプ、入カソース、出カタイプ、出カデスティネーションです。

4 - PLUGIN (デバイス)

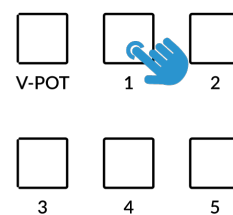
Live のインストゥルメントはもちろん、サードパーティ製のオーディオプラグインを UF8 から直接コントロールすることができます。**PLUGIN** キーを押してこのモードに入ったら、次の操作を行います：

- プラグインをコントロールしたいトラックを選択します。
- プラグインの名前は、UF8 の LCD の Low LCD セクションに表示されます。
- コントロールしたいプラグインの V-Pot を押します。
- プラグインのパラメータは、V-Pot にまたがって割り当てられます。V-Pot を押すと、そのパラメータがデフォルトになります。**FLIP** キーでプラグインコントロールをフェーダーで行う事も可能です。
- プラグインパラメーターが 8 つ以上ある場合は、**PAGE < >** キーでアクセスすることができます。
- 終了後、もう一度 **PLUGIN** キーを押すと、現在使用しているプラグインの名称を表示する状態に戻ります。

User Bank Pre-Assignments (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

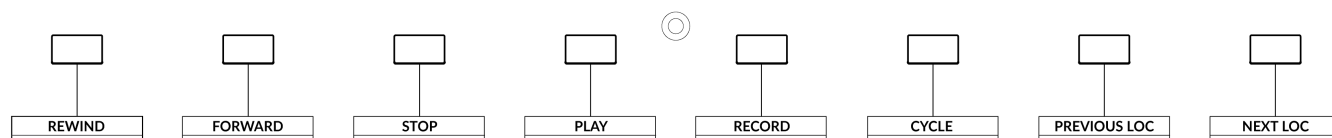
ユーザーバンク 1~5 では、UF8 の上部にある 8 つのソフトキーで、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。もちろん、SSL 360° の UF8 ページで、利用可能な DAW コマンドや独自のキーボード・ショートカット・シーケンスに変更することができます。

SOFT KEYS

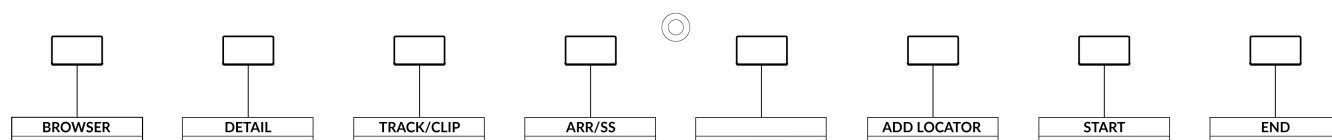


ソフトキー セクションのキー 1~5 を使用して、ユーザーバンクを選択します。

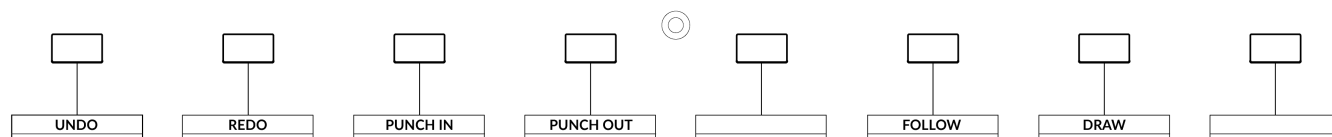
User Bank 1 (ユーザーバンク 1)



User Bank 2 (ユーザーバンク 2)



User Bank 3 (ユーザーバンク 3)



User Bank 4 (ユーザーバンク 4)

デフォルトのアサインはありません。

User Bank 5 (ユーザーバンク 5)

デフォルトのアサインはありません。

Assignable DAW Commands List - Live (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Live)

SSL 360° では、以下の DAW コマンドをユーザーキーやクイックキーに割り当てて使用することができます。

括弧内のラベルは、その機能が何をするものかを明確にするために追加されています。

I/O
Pan
Page Left
Send
Device
Page Right
Flip
Return Tracks
Shift
Option
Control
Alt
Arr/SS (Arrangement/Session View Toggle)
Track/Clip
Browser
Detail
Undo
BTA (Back To Arrangement)
Draw
Redo
Add Locator
Follow
Previous Loc (Locator)
Next Loc (Locator)
Cycle
Punch In
Punch Out
Start
End
Rewind
Forward
Stop
Play
Record
Launch Clip
Launch Scene

